



5/22

## 地域の皆さんご協力ありがとうございました 神林中学校による緑の募金活動（道の駅神林）

道の駅神林（穂波の里）を会場に、神林中学校の環境委員会による緑の募金活動が行われました。

この活動は、平成31年度に統合された神納中学校生徒会から引き継がれた活動で、環境保全の啓発を促すとともに、募金にご協力いただいた人に感謝の気持ちを込め、ブルーベリーの苗をお渡しするという活動です。

初めのうちは不慣れで、ぎこちない様子でしたが、募金をしてくれた人との会話で緊張もほぐれ、自ら進んで声をかけられるようになりました。

ご協力頂いた募金は国内外の緑化活動に使われます。



▲用意したブルーベリーの苗は1時間ほどで無くなりました

5/24

## 地元産の材料が満載、ぜひご賞味を 高校生による村上茶を使ったアイデアスイーツが完成（市役所）



▲生徒のアイデアが詰まった2商品



▲茶摘みも体験しました

市役所で「村上茶スイーツ完成発表会」が行われました。

これは、昨年、誕生して400周年の節目を迎えた村上茶を地域内でなんとか盛り上げていきたいと、村上桜ヶ丘高校、村上市茶業組合、製菓店、むらかみ「食のみらい」創造協議会が協力し、村上茶を使った商品開発に取り組んできたものです。

完成した村上茶スイーツは、クレープと団子の2種類。地元のパッションフルーツのジャムなども使用されており、高校生たちのアイデアがたくさん詰まったものとなっています。

団子は6月19日から「十輪寺茶や越後岩船家」で、クレープは6月29日から「THREE BELL」で販売しています。

5/27、28

## 荒川地域をラベンダーでいっぱいにするぞ！ ラベンダーの苗木を植栽しました（グリーンパークあらかわ総合運動公園）



荒川中学校1年生は、総合学習で「あらかわ地区まちづくり協議会」の酒井幸子さんから「なぜ荒川地域でラベンダーを育てているのか、どんな思いでまちづくりをしているのか」を学び、5月27日、28日の2日間、グリーンパークあらかわ総合運動公園で、地元でラベンダーを育てている「ハーブメイツあらかわ」のメンバーと一緒にラベンダーの苗木を植えました。

ラベンダーは大きく成長するのに2年かかり、生徒が中学3年生になる年に、たくさんの花を咲かせてくれるはず。地域の皆さんも、運動公園に足を運んでラベンダーの様子を、ぜひご覧ください。



▲一株ごとにていねいに植栽しました

6/1

## 大きくなぁ～れ！おいしくなぁ～れ！ 初めての畑仕事、サツマイモ植え（高南保育園）



▲夢中になって植える園児

晴天の中、高南保育園のぱんだ組ときりん組によるサツマイモ植えが行われました。

りす1・2組の園児たちが興味津々に見つめる中、園児たちは「イモ大好き！」と笑顔を見せながら作業を進め、100本もの苗を上手に植えていました。子どもたちは、大きく育ったサツマイモを想像し、秋に予定されている収穫を今から楽しみにしてる様子。

終了後、畑をお借りしている地元農家の人に大きな声で「ありがとうございました！」とあいさつし、農家の人は「大きくなり、美味しく食べられることを祈っています」と話してくれました。

6/1

## きれいな海岸で海水浴を 小・中学生による海岸クリーン作戦（寒川・桑川集落）



笹川流れといえばきれいな砂浜と透き通る海。多くの海水浴客が訪れる夏のシーズンを前に、さんぽく小学校4～6年生の児童と山北中学校の生徒が縦割班に分かれ、寒川と桑川の海岸でクリーン作戦を実施しました。

冬季間のしけにより、砂浜には多くのごみが打ち上げられます。9班に分かれた各班では中学生が先頭に立ち、小学生と力を合わせ、大小さまざまなごみの回収に汗を流しました。

クリーン作戦できれいになった海岸を見ながら、参加した生徒は「きれいになった海岸で、海水浴に来た人や地域の人に喜んでもらえれば」と笑顔で話してくれました。



▲小学生と中学生が力を合わせて作業

6/4

## まずは地域の仲間づくりと自信を育むことから 地域おこし協力隊による有害鳥獣対策活動が始まる（越沢集落）



▲イノシシ捕獲のため、罠の設置

兵庫県出身の神吉能宜<sup>かんきよしなり</sup>さんは、有害鳥獣対策を活動業務とする地域おこし協力隊として、今春4月に着任しました。神吉さんは以前、狩猟や獣害対策、ジビエ振興に従事した経験があり、近年、この地域でも増加している有害鳥獣被害を防ぐため、越沢集落をモデル地区としてさまざまな活動に取り組んでいきます。

「まずは協力者を増やしながら、これまで捕獲実績のないイノシシを捕獲し、地域で対策していける自信を持ってもらいたい」と話す神吉さん。

今後、有害鳥獣の被害防止へ地域と連携した活躍が期待されます。

6/6

## 地域に元気と健康を 2021あさひスポーツフェスタ（朝日多目的グラウンドほか）

真夏を思わせる気温の中、NPO法人愛ランドあさひ主催のスポーツフェスタが開催され、想定を大きく上回る300人以上が来場しました。

朝日多目的グラウンドで開催されたソフトボール大会では、各集落から参加したチームが熱戦を展開。見事、関口集落チームが優勝を飾りました。また、朝日山村広場では、数々のアトラクションが用意され、中でもストラックアウトは行列を作るほどの大人気。ジュニアダンスの発表もあり、会場一帯が大いににぎわいました。

来場者への検温やマスク着用・消毒の徹底などを講じて開催できたスポーツフェスタ。コロナ禍において、来場者は、久しぶりに笑顔で満ち溢れた時間を過ごしました。



▲緑あふれる広場でアトラクションを楽しむ来場者